



第26回 日本CT検診学会学術集会

開催趣意書

抄録集広告掲載募集のご案内

企業展示募集のご案内

共催セミナー募集のご案内

大会長：名和 健（株式会社日立製作所日立総合病院）

会 期：2019年2月8日（金）・9日（土）

会 場：日立シビックセンター

御挨拶

謹啓

春寒の候、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より日本CT検診学会の活動に対してご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。CTは画像診断に革命的な進歩をもたらし、現在の医療において不可欠な機器となっています。低線量（低被ばく）CTによる肺がん検診は1990年に本邦でその構想が発表され、本日に至るまで着実に普及してきました。本学会は、低線量CTによる検診の有効性を高め、また問題点を解決するために、その成績や新しい技術について研究・発表する場として1994年に「胸部CT検診研究会」として発足し、年1回の学術集会を開催してまいりました。

このたび、2019年2月8日（金）と9日（土）の両日、茨城県日立市「日立シビックセンター」において、第26回日本CT検診学会学術集会を開催させていただくこととなりました。このような機会を与えて頂けたのは、常日頃本学会の活動に対し格段のご理解とご協力のを頂いている皆様方のご尽力の賜物であると心より感謝申し上げます。

本学会は2006年からは「NPO法人 日本CT検診学会」と名称及び制度の改正を行い、現在に至っております。会員数は700名を超えており（2017年末）、半数は臨床各科と公衆衛生関係などの医師ですが、画像処理やコンピュータ関連の工学の研究者、放射線技師、放射線機器メーカーの研究者、保健師、看護師、臨床検査技師、衛生行政担当者、検診機関の実務担当者なども少なくなく、その職種は極めて多岐にわたっています。このようにCT検診に関わる多くの職種や立場の関係者が一堂に会して議論できる場は他になく、CT検診を適切な方法で普及させるために重要な組織として認められております。さらに、参加される医師の多くは日常呼吸器科領域の診療、すなわち、COPD患者さんや肺癌患者さんの画像診断、気管支鏡を含めたインターベンション、外科治療、薬物療法、緩和治療などに広く携わっています。

前身である胸部CT検診研究会における当初の研究対象は肺がんと冠動脈石灰化でしたが、活動を通じて早期の肺気腫や肺結核などさまざまな呼吸器疾患の徴候を指摘できることが明らかとなりました。内蔵脂肪の定量的評価、動脈瘤の診断、骨粗鬆症の診断、脊柱起立筋の評価、さらにはCTコロノグラフィーによる大腸がん検査も開発、普及しつつあり、対象とする臓器は全身に広がっております。

低線量CTを用いた肺がん検診をめぐる世界の情勢に目を向けますと、米国では胸部X線検診との無作為化比較試験（National Lung Screening Trial：NLST）において重喫煙者に対するCT検診が肺癌死亡を約20%減少させるとの報告が2011年になされ、2015年3月にはCMS（The Centers for Medicare & Medicaid Services）が重喫煙者に対する低線量CT検診を公的保険（メディケア）でカバーするとを発表しました。また、2017年12月には欧州の複数の学会による共同宣言が発表され、各国に重喫煙者へのCT検診を導入するよう提言されました。いわゆる高危険群に対するCT検診は欧米を中心に普及してい

くと推測されます。

一方、わが国においては非喫煙者や軽喫煙者の肺がんも重大な問題であるため、検診の対象や方法について欧米とは異なるアプローチが必要です。現在進行中の非喫煙者・軽喫煙者に対する低線量CT検診の無作為化比較試験（JECs 研究）の結果が待たれるところですが、すでに全国各地で行われている検診の成績を集約して有効性や課題を明らかにしていくことが望まれます。本学会はより適切な低線量CT検診を推進するために技術の向上を図り、精度の高い検診を国民に提供し、ひいては国民の肺がん死亡を減少させるために先頭に立つべき存在でありたいと願っているところです。

検診のもたらす利益を最大化し、また不利益を最小化するためには、検診対象の設定、説明と同意、検査、判定、精密検査への橋渡し、精密検査や治療、結果に応じた対応など一連のプロセスを最適化していくことが必要です。また、実臨床でも発見されるさまざまな所見をどのようにマネジメントするかは重大な問題です。CT検診が地域、職域、人間ドックのオプションなどさまざまな場面で提供されている本邦の現状を鑑みると、「被ばくのリスクが相対的に高くなる若年者には行わない」「検診としては低線量撮影を行う」という大原則を除き、画一的な方法を推奨しても役には立たず、それぞれの現場で最適な運営方法を考えていく必要があります。そのためには、受診者を中心に、検診の運営に関わるさまざまな職種間のコミュニケーションのみならず、臨床側とのコミュニケーションが大切であると考えます。そこで、今回の学術大会のテーマを「CT検診に関わる全ての人のために」とさせていただきます。本大会を通じて、これまであまり表に出てこなかった現場の現状や問題点を明らかにしてより良い検診を提供する契機にしたいと考えております。

第26回大会の会場は、2011年に妹島和代氏の設計により海に見える橋上駅舎が刷新された常磐線「日立」駅に隣接した「日立シビックセンター」です。茨城県日立市は日立鉱山および日立製作所の発祥の地であり、CT検診が職域から始まり、地域や総合健診に普及した本邦でも有数の地域です。市内、県内で検診に携わる様々な職種のみならず、上野東京ラインの開通により品川や東京からのアクセスも改善されていることから、多数の参加者を見込めることが出来ますので、御社製品等を効率よくアピールするには格好の場になると期待されます。

つきましては、上記の趣旨をご理解頂き、この機会に是非本学術集会抄録集への広告掲載、企業展示、ならびに共催セミナーをご検討賜りたく、お願い申し上げます。諸費多端の折から誠に恐縮ではございますが、本会にご協賛の程何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 白

2018年2月吉日

NPO 法人日本CT検診学会 第26回学術集会 大会長
株式会社日立製作所日立総合病院 名和 健

開催概要

1. 大会名称 日本CT検診学会第26回学術集会
2. 会 期 平成31年2月8日(金)・9日(土)
3. 会 場 日立シビックセンター
〒317-0073 茨城県日立市幸町1丁目21-1
(<http://www.civic.jp/>)
4. 主 催 NPO法人日本CT検診学会
5. 大会長 名和 健(株式会社日立製作所日立総合病院)
6. 参加予定数 300名
7. プログラム シンポジウム、一般演題、ランチョンセミナー、企業展示
8. 学会事務局 第26回日本CT検診学会学術集会 学会事務局
株式会社クバプロ内
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15
TEL：03-3238-1689
FAX：03-3238-1837
E-mail：jscts-taikai26@kuba.jp

企業展示募集要項

1. 展示会場 日立シビックセンター 会議室
2. 展示料金 1小間 : W1800 × D600 (長机1代)、パネル板
¥100,000 (消費税込 108,000円)
3. 展示募集企業数 5社
4. 申込締切日 平成30年12月7日(金)
5. 搬入・搬出予定 平成31年2月7日(木) 午後 時間未定
平成31年2月9日(土) 午後 時間未定
6. ご請求・お支払いについて
お申込確定後、請求書をお送りいたします。請求書に記載いたします支払日までに指定口座へお振込みください。また、振込手数料は貴社にてご負担ください。貴社事情により支払日までにお振込みできない場合には、必ずご連絡ください。
7. お申込み解約について
申込書受領後の解約は原則お受けできません。なお、申込解約を書面にてお送りいただき主催者が解約を認めた場合は以下の解約料金をお支払いいただきます。
解約料金 解約書面をお送りいただいた日を基準として
平成30年11月30日までに受領……請求額の50%
平成30年11月30日以降……請求額の全額をお支払いいただきます。
8. お振込み先 以下の第26回日本CT検診学会学術集会用口座までお振込をお願い致します。
銀行名：ゆうちょ銀行
口座種類：普通預金
口座番号：店番【018】9172684
口座名義：特定非営利活動法人日本CT検診学会

講演抄録集広告掲載募集要項

1. 掲載媒体 第26回日本CT検診学会学術集会抄録集
2. 発行部数 1,000部
3. 配布対象 日本CT検診学会会員および当日参加者
4. 掲載料金 A4版
表4 [白黒・カラー] : 100,000円 (消費税込 108,000円)
表3 [白黒・カラー] : 80,000円 (消費税込 86,400円)
表2 [白黒・カラー] : 80,000円 (消費税込 86,400円)
中項 (全面) [白黒] : 60,000円 (消費税込 64,800円)
中項 (半面) [白黒] : 30,000円 (消費税込 32,400円)
5. 広告掲載募集企業数 19社
(表4 [白黒・カラー] 1社、表3 [白黒・カラー] 1社、表2 [白黒・カラー] 1社、中項 (全面) [白黒] 6社、中項 (半面) [白黒] 10社)
6. 申込締切日 平成30年11月30日
7. 原稿締切日 平成30年12月7日
8. 入稿形態 完全データ (PDF) 入稿
※必ずデータの出力紙をご提出ください。
9. お振込み先 以下の第26回日本CT検診学会学術集会用口座までお振込をお願い致します。
銀行名：ゆうちょ銀行
口座種類：普通預金
口座番号：店番【018】9172684
口座名義：特定非営利活動法人日本CT検診学会

抄録集広告申込書・展示申込書

平成30年 月 日

- 講演抄録集に広告掲載を申込みます。
- 表4 [白黒・カラー] 100,000円 (消費税込 108,000円)
- 表3 [白黒・カラー] 80,000円 (消費税込 86,400円)
- 表2 [白黒・カラー] 80,000円 (消費税込 86,400円)
- 中項 (全面)[白黒] 60,000円 (消費税込 64,800円)
- 中項 (半面)[白黒] 30,000円 (消費税込 32,400円)

- 企業展示に申込みます。

_____ 小間

貴社名：

ご担当者名：

ご担当部署：

〒

ご連絡先住所：

TEL：

FAX：

E-mail：

申込先：

第26回日本CT検診学会学術集会

株式会社クバプロ内

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：jscts-taikai26@kuba.jp

共催セミナー募集要項

1. 開催日程 平成31年2月8日(金)・9日(土)
2. 会場 日立シビックセンター
3. 講演形式 ランチョンセミナー・イブニングセミナーはPCプレゼンテーション形式で60分、ハンズオンセミナーは打ち合わせの上で個別に決定。
※プログラムの都合により、時間帯が多少変更になる場合もありますのでご承知ください。
4. 講演種類(募集企業数)
ハンズオンセミナー(2社)、ランチョンセミナー(2社)、イブニングセミナー(1社)
5. 参加費：
 - ・ハンズオンセミナー 500,000円(消費税込540,000円)
会場費、音響機材費及びスタッフ(照明係、進行係)を含んでいます。ハンズオンセミナーに必要な診断機器や指導者は御社にお願いすることとなります。
 - ・ランチョンセミナー 500,000円(消費税込540,000円)
会場費、映像・音響機材費及びスタッフ(PCオペレータ、照明係、進行係)を含んでいます。お弁当代は含まれておりませんので、ご留意ください。
 - ・イブニングセミナー 300,000円(消費税込324,000円)
会場費、音響機材費及びスタッフ(照明係、進行係)を含んでいます。

※全てのセミナーについて、参加費には講演者、座長・司会等の謝金、旅費交通費、宿泊費、製作物費用は含まれておりません。
6. 申込締切日 平成30年12月7日
7. その他 演題・講演概要を抄録に掲載いたします。
 - ・版型：A4判
 - ・印刷方法：本文モノクロ1色印刷
 - ・原稿締切日：平成30年12月7日
 - ・入稿方法：Wordにてお送りください。

※申込締切日以降、プログラムが確定後に詳細を連絡します。

8. お振込み先 以下の第26回日本CT検診学会学術集会用口座までお振込をお願い致します。

銀行名：ゆうちょ銀行

口座種類：普通預金

口座番号：店番【018】9172684

口座名義：特定非営利活動法人日本CT検診学会

共催セミナー申込書

平成30年 月 日

- 共催セミナーを申込みます。
- ハンズオンセミナー 500,000円(消費税込540,000円)
- ランチョンセミナー 500,000円(消費税込540,000円)
- イブニングセミナー 300,000円(消費税込324,000円)
- その他()

貴社名： _____

ご担当者名： _____

ご担当部署： _____

〒

ご連絡先住所： _____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

申込先：
第26回日本CT検診学会学術集会
株式会社クバプロ内
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15
TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837
E-mail：jscts-taikai26@kuba.jp

寄附金募集要項

1. 開催日程 平成31年2月8日(金)・9日(土)
2. 会場 日立シビックセンター
3. 寄附金の金額 一口50,000円
4. 寄附金(目標額) 500,000円
5. 寄附金の目的 全額第26回日本CT検診学会学術集会運営資金として使用
6. 申込締切日 平成31年1月15日
7. お振込み先 以下の第26回日本CT検診学会学術集会用口座までお振込をお願い致します。
銀行名：ゆうちょ銀行
口座種類：普通預金
口座番号：店番【018】9172684
口座名義：特定非営利活動法人日本CT検診学会

寄附金申込書

平成30年 月 日

寄附金を申し込みます。

一口 50,000円× ()口 = ()円

貴社名：

ご担当者名：

ご担当部署：

〒

ご連絡先住所：

TEL：

FAX：

E-mail：

申込先：

第26回日本CT検診学会学術集会

株式会社クバプロ内

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：jscts-taikai26@kuba.jp

第26回CT検診学会学術集会 収支予算案

| 収入の部 | 科目 | 科目摘要 | 予算額 |
|----------|----|--------|-----------|
| 1. 参加費 | | 参加費 | 2,400,000 |
| | | 懇親会費 | 320,000 |
| 2. 展示出展料 | | | 500,000 |
| 3. 広告掲載料 | | | 920,000 |
| 4. 共催費 | | 学会本部補助 | 800,000 |
| | | 共催セミナー | 2,300,000 |
| 5. 寄附金 | | | 500,000 |
| | | 合計① | 7,740,000 |

| 支出の部 | 科目 | 科目摘要 | 予算額 |
|-----------|----|-------------|-----------|
| 1. 会場費 | | 会場・付帯設備費 | 1,700,000 |
| | | 懇親会費 | 480,000 |
| 2. 企画運営費 | | 企画運営費 | 1,740,000 |
| 3. 制作費 | | ポスター・チラシ | 500,000 |
| | | HP関連費 | 250,000 |
| | | 抄録集 | 1,000,000 |
| | | 参加票その他 | 90,000 |
| 4. 事務局運営費 | | 通信費 | 100,000 |
| | | 消耗品費 | 30,000 |
| | | 会議費 | 100,000 |
| | | 交通費 | 350,000 |
| 5. その他 | | 宿泊費・謝金等(演者) | 600,000 |
| | | 学会本部返金 | 800,000 |
| | | 合計② | 7,740,000 |

| 収入合計① | 支出合計② | 残高 |
|-----------|-----------|----|
| 7,740,000 | 7,740,000 | 0 |



日立駅・国道6号日立バイパス

日立市神峰山一本桜

日本三名園・偕楽園

第26回日本CT検診学会学術集会

The 26th annual meeting of Japanese Society of CT screening

CT検診にかかわるすべての人々のために

日時：2019年2月8日(金)～9日(土)

会場：日立シビックセンター

大会長：名和 健 (株式会社日立製作所 日立総合病院)



「日の立ち昇るところ領内」日立市初崎海岸にて

「日立」の名の由来：
「水戸黄門」として親しまれている水戸藩2代藩主徳川光圀が日立地方を訪れ、海から昇る朝日の美しさを称えたという故事に由来していると言われています。

大会事務局

(株)日立製作所日立総合病院 総務グループ
〒317-0077 茨城県日立市城南町2-1-1
Tel: 0294-23-1111 (代) Fax: 0294-23-8317
E-mail: jscts.26.uy@hitachi.com



<http://www.jscts.org/taikai26/>

詳細については、決まり次第HPにて掲載いたします

主催：特定非営利活動法人 日本CT検診学会

本件に関する問い合わせ先

第26回日本CT検診学会学術集会 学会事務局

株式会社クバプロ内

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15

TEL 03-3238-1689 / FAX 03-3238-1837

E-mail jscts-taikai26@kuba.jp